

工事現場の安全対策にかかる創意工夫

整理番号：61

分類	第17章第1節7.現場管理
事例名称	視認性を配慮した作業警戒・作業中止基準水位標
<p>対策の概要</p> <p>標尺等を利用した水位標に代え、所定の水位標高の護岸ブロックへのマーキングを行うことで、視認性の向上はもとより、水位標の破損・流出防止を図った。</p> <p style="text-align: right;">川合新田護岸下流工事</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>開催状況</p> <p>本年度工事で撤去される護岸ブロックにマーキングを行い、対岸から視認出来る水位標とした。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>マーキングの状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>通常の水位標</p> <p>水位観測には適するが、増水等での破損が多く、遠方からの視認性に乏しい。</p> </div> </div>	